

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2023 年

10 月

218号



- ◇自分の可能性
- ◇法華経の救われ方と無量の功德
- ◇正しい相談相手を選んで

宗教法人 真生会

<http://www.shinseikai-world.or.jp>

利他の心を育もう

『思いやりのある家庭と社会を作ろう！』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままで輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）



日本最古のイスラム
教寺院、神戸モスク



イマーム（聖職者）と理事会メンバーの先生方

WCRP 宗教協力活動

九月十三日、神戸市内の日本最古のムスリムモスクでWCRP 45回理事会が行われた。会長先生も出席され、世界平和に向けた活動報告と議論が行われた。

災害緊急救援金寄託

世界各地を襲う大自然災害に真生会「いつでも救援募金」より緊急救援金を下記のように寄託致しました。頻発する自然災害に備え、更なる募金のご協力をお願い致します！

- ・ ハワイ大火災救援金 ￥. 200, 000（日本赤十字社）
- ・ リビア大洪水救援金 ￥. 200, 000（日本ユニセフ協会）
- ・ モロッコ地震救援金 ￥. 200, 000（日本赤十字社）

《直接募金》 教会常設「いつでも救援募金箱」

《振込募金》 三菱UFJ銀行 岐阜支店

宗教法人真生会救援基金（普通）0133193

令和5年度秋季彼岸先祖大法要



9月10日大阪教会にて



9月24日総本山真生寺に於て
ご真教法話される会長先生



9月18日名古屋教会にて



真生会の基本行、一心行修行



仏の子、みんなでお手伝い



教えの分かち合いグループ法座

開祖さまのみ教え

開祖 田中 偉仁
た なか ひで ひと



「積善の家に余慶あり」の諺は知っていても何が積善になっているのか、積悪になっているのか分からず、良いことだと思ってやっても案外がっ

かりすることがあります。俗に「正直者が馬鹿を見る」と言いますが、相手の立場も考えず、自分の理論理屈を通すのは正直者ではありません。己に力無きと知ったら、如何なることがあろうとも忍ぶ人が己に正直な人であり、常に相手の立場から物事を考え、事を運ぶ人こそ仏様から眺めた正直者であります。この世の中は自分一人の力では生きられません。多くの人の恩恵によって、自分が今日行かされていることを忘れてはいけません。凡夫は自分が正しいと考えて一方通行の主張をするから人生に行き詰まってしまうのです。向上心のある人は目上の忠告を素直に受ける。忠告されなくなった時は、認められたか見捨てられたかのどちらかである。

(1981年、真実に生きる30号より)

ぶ真教法話

会長 田中 庸仁
た なか つね ひと



◇自分の可能性

あなたはどうか生きていますか？

毎日が充実し、イキイキと喜んで生きていますか？

毎日愚痴がこぼれ、不平不満で生きていませんか？

感動も怒りも不満もなく、マンネリ化して漠然と流れのままに生きていませんか？

あなたは本当にこのままでいいんですか？いまの自分でいいんですか？

不平不満はあっても、どういう自分が理想なのか、本当に自分はどうなりたいのか見えていますか？

自分の夢は何なのかを明確にしましょう。そのためには、どうすれば自分が

ありのままの自分で楽しい人生が送れるのか！

夢が見つかったら、覚悟を決めるだけです。

覚悟が決めれば行動ができる。行動をすれば現実が変わり始める。

理想の自分になるために、何か努力をしてみましよう。

夢や目標もなく、周囲や常識に流されながら、愚痴や不満で世の中という大海原を漂流ひよりゅうしている人生は不安でつまらないものです。

◇法華經の救われ方と無量の功德

宝塔偈ほうとうげ（法華經見宝塔品第十一）にこのように説かれています。

「この經は持たもち難がたし、もし暫しばらくも持たもつ者は我すなわち歡喜す。諸仏もまた然しかなり・・・諸仏の歎ほめたもう所なり」

【意訳】法華經の教えを信じ続けることは難しいが、何があっても少しの間でも信じて実践する人は、お釈迦



様と諸仏が喜ばれ、いざという時に守って下さるのです。信じていない人は自力だけで乗り越えるしかないのです。

「よく来世に於いて、この経を読み持たんは、これ真の仏子、淳善の地に住するなり」

【意識】 仏滅後の今の時代に毎日お経を上げる人は本物の仏の子であり、喧嘩や愚痴のない明るく安心な家庭に暮らすことができ、自分自身もすぐに怒ったり不平不満に思ったりすることのない穏やかな心になれるのです。

「仏の滅度の後に、よくその義を解せんは、これ諸の天・人、世間の眼なり」

【意識】 仏の滅度に、教えの意味がよく理解できた人は、世の中を正しく見ることができるようになり、どんなことにも動揺が無くなるのです。そして、天上界や人間界の人々に真理の目を開かせる世間の眼になれるのです。だから平素からたくさん法話を聞いて教えの真理を深く学びましょう。

「恐れ世に於いて、よく須臾も説かんは、一切の天・人、皆供養すべし」

【意識】 ここが無量の功德を頂く一番大切な所です。

未曾有の豪雨や猛暑、壊滅的な大地震、各地に起こる戦争など恐怖と畏れの

末法の世で、法華經の教えを少しでも一言でも人に説き
伝えた人は、すべての天上界の神様や人間界の人々に供
養される存在となり、計り知れない大きな功德が頂ける
のです。

毎日お経を上げ、法話をたくさん聞いて法の眼まなこで物事
を正しく見て、人に教えを伝えるだけで無量の功德が与
えられるのが法華經のすごい経力なのです。聞くだけの
信仰、自分の念願成就だけの信仰から一步踏み出し、今
日から教えを伝えましょう。無量の功德が現れます。

◇正しい相談相手を選んで

遠方からの電話相談です。

「共働きをしています、子供の塾や習い事などの出
費も重なり家計が苦しいから最近夫婦喧嘩ふうふげんかも増え、その
うえ事故や怪我や病気など想定外の出費が多く、悪循環
の生活です。仕事も喜べず、転職したい気持ちでいっぱ



いです。どうしたらいいでしょうか」と切実な相談です。

「親さんには相談しましたか」

「いいえ、親には心配かけるといけないので、友達や知り合いの若い社長さんに相談していましたが、いい方法が見つからないので思い切って相談のお電話をしました」

「人生にはいろいろな分岐点や迷う時がありますが、相談相手やお手本を間違えたら大変です。友達や若い人が悪いわけではありませんが、同年代でお互いに人生経験が浅いので同等の目線で見れません。

経験豊かな目上の人や成功者、徳人に相談することが世渡りの秘訣です。

心配はかけても親に相談することも大切です。親と言う字は『木の上に立つて見る』と書きます。親の仕事が自分とは畑違いであっても、木の上から見ると、遠くの方まで子供の自分では見えないことも見えるものです。ましてや教えるの師に尋ねることは法を中心に教えてもらえるから安心です」

「ところで自宅には真生会のご本尊が^{まつ}お祀りしてあるはずですが、毎日お経を上げていますか」

「以前は上げていましたが、この頃は手を合わせてお題目を唱えるだけか、手を合わせない時もあります」

「それではいけません。仏作つて魂入れずです。きつと仏様やご先祖様のご守護がかからくなってきているのですよ。今日から、修行と思つて毎日お経を上げて下さい。それだけで家庭の中が円満になり、夫婦喧嘩も減り、要らぬ病氣や怪我も少なくなりますよ。

そして、法話をたくさん聞いて正しいものの見方を身に付けることです」

「先生よくわかりました。忙しさや疲れたからとお経を上げることが疎かになっていました。できるだけお参りもして法をしつかり学んでいきます。有り難うございました」と決意を新たにされました。

毎日お経を上げるようになれば、きっと仏様のご守護が頂け明るく楽しい家庭、淳善じゆんぜんの地になることでしょう。



10

二刀流
 自分を
 誉める
 自分を
 甘やかさな
 出来ぬか
 謙

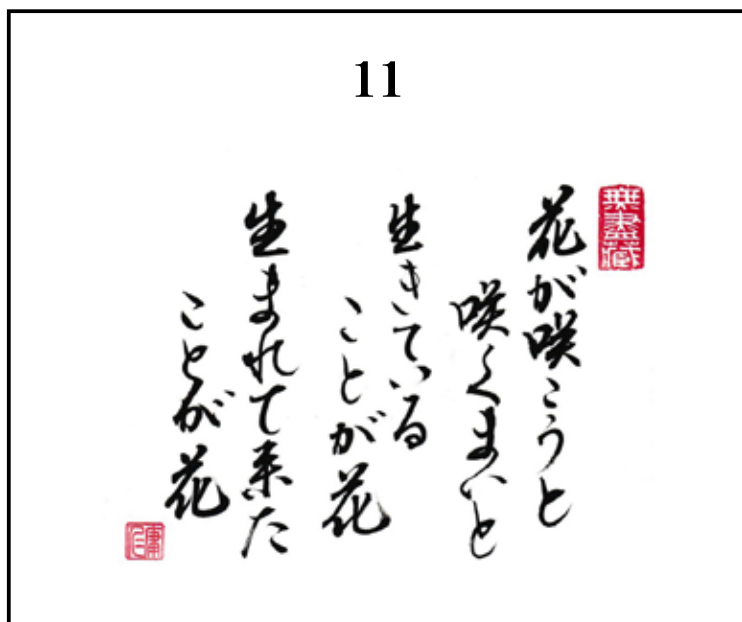
日めくり解説⑥

大谷翔平選手の二刀流は多くの野球ファンに感動を与えましたが、超一流選手でもほとんど休養日なしでの二刀流は厳しかったようですね。ちよつとやり過ぎたのでしょうか。でも、ホームラン王が取れて素晴らしいですね。自分にご褒美！

現代社会は誉めて育てる時代と言われます。厳し過ぎたり、酷使こくしすると人間も機械も壊れてこわしまいます。

しかし、人間はつい楽な方に流れるとすぐ墮落だらくしてしまいます。自分自身で硬軟二刀流の使い分けができるかどうかですね。「過ぎたるは及ばざるが如し」かたよ偏らない生き方が大切ですね。

11



燃える闘魂^{とうこん}、アントニオ・猪木さん

の言葉です。リングでは猛者^{もさ}と戦う雄姿を見せ、最後は病床で病魔と闘う姿をテレビであえて見せ、生きることの厳しい現実を包み隠さずさらけ出し、最後まで公私ともに闘い続けた格闘家・猪木さんは真の勇者でした。

生きていることに自信を持ちましょう。生まれてきたことを誇りに思いましょう。

結果を気にし過ぎると、せっかくの人生が苦しくなります。善いこともあり、辛いこともあるのが人生です。

裏を見せ 表を見せて 散る紅葉^{もみじ}

(良寛)

今月の運勢（11月）

（2023年11月8日～12月6日）

一 白水星

収穫の時を迎え、物事にひと区切りをつける必要がある。しかし極端はいけない緩急新旧の調節が大切。節度を保ちながら、ギリギリまで努力をすれば、困難を乗り越えた後には喜びがやって来る。

二 黒土星

本当の実力者は、高い志を持ちながらも常に謙虚な姿勢を保っている。自分の富を削って施せば、更に周囲の信頼と協力を得ることが出来る。想定外のトラブルに注意すること。

三 碧木星

輝くばかりの明るさで

行動すれば大きく発展

し豊かさを得る。ただし、豊かさを保つためには太陽のように陰日向なく誰にでも温かく慈愛をもって接することを心掛けること。

四 緑木星

心の中に引つかかっていた心配事や困難が悦びによって解消し悩み事から脱却できる。守るべき結束が崩れそうになった時、先祖供養と感謝の力で離散を防ぐことが出来る。

五 黄土星

優しくコツコツと地道な努力を続ければ安心安全な生活基盤が保たれる。大きく発展する

ための基盤作りの時であり、焦らず陰役や勤勉努力を続けること。

足元の掃除、整理整頓を怠らないように。

六 白金星

欲を離れ、何事も無心で行い、自分自身にウソ偽りがなければ天の助けにより、望外のご褒美が頂ける。反対に動機や方法が不順であれば天が落雷となつていさめるから要注意。

七 赤金星

高運気だが何事もやり過ぎたり無理をし過ぎると自滅する恐れがある。しかし、ほどほどやそこそこの手抜きはいけない。悦びの徳と

人に好かれる従順さがあれば願い事は通る。

八 白土星

動かざること山の如し。人の動きに注視しながらも今はどつしり構えて周りの小さな動きに心を惑わされないこと。目標に向かって進むエネルギーを蓄える時である。

九 紫火星

計算をはるかに超える結果が得られる。そのためには従来の結束を固め、その内容を一層充実させることが大切。好調な時だが自らの傲慢と油断に注意し、天命に従い善行に励むことが重要。

しあわせ眼鏡

人生はいつでも変えられる。
どう変わるかは、
あなたの覚悟次第です。
法華経は
あなたの人生を変える
フィルターです。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします